

■テーマ

A級コーチジェネラル養成講習会（第4コース）を受講して

■目的

- ・自己の指導力及びサッカー理解の向上
- ・後進への示唆を得るため

■報告対象者：

今後A級ジェネラルの取得を目指す者

■流れおよび全体像：

「期間」

4月24日（月）～29日（土）・6月26日（月）～7月1日（土）・11月11日（木）～11月16日（木）の3期（前、中、後期）

「会場」

Jグリーン堺

「インストラクター」

松田 浩氏・鈴木 淳氏

「概要」

指導実践のテーマは以下の7つであった。

- ③ 高い位置からの守備の改善 ②ビルドアップの改善（高い位置からの守備に対して）
- ③中盤でボールを奪う守備の改善 ④中盤でボールを奪う守備に対する攻撃の改善
- ④ リトリートした守備の改善 ⑥リトリートした守備に対する攻撃の改善
- ⑦カウンター攻撃の改善（自陣に引き込んでから）

上記のように、アタッキングサード、ミドルサード、ディフェンシブサードといったエリアの指示はあるが、それ以外は全く規制の無いのが特徴的であった。

インストラクターによるデモ的な実践は無く、全て受講生による指導実践で実技は進行し、前期、中期は大学生のサポートを交えて2グループで進行し、後期は受講生のみが1つのグループになり指導実践を行った。

また、各種レポート、プレゼン実習（PP、映像使用。テーマは上記指導実践のテーマから1項目）の課題の他に、各自が指導実践を行いA級以上の指導者に観てもらった「間の学習」もあったことが特徴的であった。

□提言

- ・自らの方法論を持つこと、論理を構築することが常日頃から大切
- ・方法論を選手に伝え、向上させることができる指導力の必要性
- ・選手と共にプレーできるだけのコンディションの維持、充実が必要